

伊勢原市商工会 令和5年度 経営発達支援計画目標対比実績管理表

2024.05.15 検証委員会

※全職員：宮川・内海・小川・小泉・矢野・安野・樋口・伊藤
を指す（局長を除く）

担当 (工総は選択事業)	昨年度 実績値 (令和4年度)	本年度 目標値 (令和5年度)	本年度 実績値 (令和5年度)	評価委員 評価A~E で表示	評価委員コメント
I. 経営発達支援事業の内容					
3. 地域の経済動向調査に関すること					
【調査分析等の目標】					
地域経済動向分析の公表回数		年 0 回	年 1 回	年 0 回	E 調査分析がなかなかスタートできていません。来年度こそは、一つでもいいので実行(計画と実施)が必要です。
・広報誌「あふり」による提供	安野・伊藤	年 0 回	年 1 回	年 0 回	E 分析ができれば、展開はできると思います。
・商工会ホームページ等での公表	樋口・小泉	年 0 回	年 1 回	年 0 回	E 分析ができれば、展開はできると思います。
景気動向調査分析の公表回数		年 0 回	年 1 回	年 0 回	E 調査内容は具体的ですので、実行計画が必要です。
・広報誌「あふり」による提供	安野・伊藤	年 0 回	年 1 回	年 0 回	E 調査ができれば、展開はできると思います。
・商工会ホームページ等での公表	樋口・小泉	年 0 回	年 1 回	年 0 回	E 調査ができれば、展開はできると思います。
4. 需要動向調査に関すること					
【需要動向調査に関する目標】					
①顧客アンケート調査(BtoC)(支援事業者数)		年 0 者	年 5 者	年 0 者	E 調査内容は具体的ですので、実行計画が必要です。
・顧客アンケート調査(支援事業者数)	宮川・矢野	年 0 者	年 5 者	年 0 者	E 調査内容は具体的ですので、実行計画が必要です。
・		年 0 者	年 0 者	年 0 者	
②工業系展示会におけるアンケート調査(BtoB)(支援事業者数)		年 0 者	年 3 者	年 0 者	E 調査内容は具体的ですので、事前の実行計画が必要です。
・テクニカルショウヨコハマの来場者アンケート調査(支援事業者数)	宮川・矢野	年 0 者	年 3 者	年 0 者	E テクヨコの参加に合わせたアンケート実施計画を立てましょう。
・		年 0 者	年 0 者	年 0 者	
③商業系展示会におけるアンケート調査(BtoB)(支援事業者数)		年 0 者	年 3 者	年 0 者	E 調査内容は具体的ですので、実行計画が必要です。
・スーパーマーケットトレードショーの来場者アンケート調査(支援事業者数)	小川・内海	年 0 者	年 2 者	年 0 者	E トレードショーの参加に合わせたアンケート実施計画を立てましょう。
・		年 0 者	年 0 者	年 0 者	
・		年 0 者	年 0 者	年 0 者	
5. 経営状況の分析に関すること					
【小規模事業者の経営分析目標】					
①経営分析セミナーの開催	安野・小泉	年 0 回	年 2 回	年 1 回	C 今期は経営分析セミナーができましたから、来期は経営分析を1件でも良いから実施しましょう。
②経営分析の実施(支援事業者数)	全職員	年 0 者	年 60 者	年 0 者	E セミナーができたことは一歩前進です。来期は計画回数をクリアしましょう。
6. 事業計画策定支援に関すること					
【小規模事業者の事業計画策定支援目標】					
①DX推進セミナーの開催	宮川・小泉	年 1 回	年 3 回	年 3 回	A 先期C評価からアップしました。新しい試みが実行できていますので、今期も継続しましょう。
②事業計画策定セミナーの開催	安野・小泉	年 0 回	年 3 回	年 2 回	C 先期E評価からアップしました。継続が重要です。
③創業計画策定件数(創業セミナー参加者数)	宮川・小泉	年 8 人	年 15 人	年 12 人	B 先期C評価からアップしました。継続が重要です。
④事業承継セミナーの開催(実施回数)	矢野・樋口	年 1 回	年 1 回	年 1 回	A 受講した商工会役員が中心となって、来期の受講者数拡大をしましょう。
⑤事業計画策定事業者数(支援事業者数)	全職員	年 15 者	年 60 者	年 29 者	C 先期D ⁺ 評価からアップしました。小規模事業者持続化補助金支援は、来期も継続しましょう。
7. 事業計画策定後の実施支援に関すること					
【事業計画策定後のフォローアップ支援に関する目標】					
①フォローアップ対象事業者数	全職員	年 18 者	年 60 者	年 13 者	D フォローアップ件数がダウンしました。売上・利益増加の成果は出ていますので、取組みを継続しましょう。
②フォローアップ頻度(延べ回数)	全職員	年 46 回	年 240 回	年 27 回	D 先期C評価からダウンしました。母数となる採択者数のアップする取組みが必要です。
③売上増加事業者数または経常利益率3%以上の増加事業者数	全職員	年 4 者	年 15 者	年 5 者	C 小規模事業者持続化補助金の採択者数での増加は評価されず、この取組みを継続しましょう。
8. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること					
【需要開拓支援の目標】					
①展示会・商談会出展支援(BtoB)	小川・安野	年 17 者	年 10 者	年 11 者	A 昨年より少ないですが、目標は達しています。
展示会・商談会出展支援による成約件数(者)		年 47 者	年 2 者	年 61 者	A ⁺ 昨年より大幅に増加し、良い成果を出しています。継続しましょう。
・フードストアソリューションズフェア2023の出展者数	小川・安野	年 2 者	年 0 者	年 2 者	内訳項目で目標値0のため評価はしない。継続が必要。
・フードストアソリューションズフェア2023の出展者の内成約数	小川・安野	年 4 者	年 0 者	年 3 者	同上
・地方銀行フードセレクションの出展者数	小川・安野	年 2 者	年 0 者	年 2 者	内訳項目で目標値0のため評価はしない。継続が必要。
・地方銀行フードセレクションの出展者の内成約数	小川・安野	年 6 者	年 0 者	年 3 者	同上
・FOOD STYLE Kyushuの出展者数	小川・安野	年 2 者	年 0 者	年 0 者	内訳項目で目標値0のため評価はしない。再計画が必要。
・FOOD STYLE Kyushuの出展者の内成約数	小川・安野	年 4 者	年 0 者	年 0 者	同上
・FOOD STYLE Kansaiの出展者数	小川・安野	年 2 者	年 0 者	年 0 者	内訳項目で目標値0のため評価はしない。再計画が必要。
・FOOD STYLE Kansaiの出展者の内成約数	小川・安野	年 2 者	年 0 者	年 0 者	同上
・スーパーマーケットトレードショーの出展者数	小川・安野	年 4 者	年 0 者	年 2 者	内訳項目で目標値0のため評価はしない。継続が必要。
・スーパーマーケットトレードショーの出展者数の内成約数	小川・安野	年 14 者	年 0 者	年 3 者	同上
・テクニカルショウヨコハマの出展者数	宮川・矢野	年 5 者	年 0 者	年 5 者	内訳項目で目標値0のため評価はしない。継続が必要。
・テクニカルショウヨコハマの出展者数の内成約数	宮川・矢野	年 17 者	年 0 者	年 52 者	内訳項目で目標値0のため評価はしないが、非常に良い。
・		年 0 者	年 0 者	年 0 者	
・		年 0 者	年 0 者	年 0 者	

伊勢原市商工会 令和5年度 経営発達支援計画目標対比実績管理表

2024.05.15 検証委員会

※全職員:宮川・内海・小川・小泉・矢野・安野・樋口・伊藤を指す(局長を除く)

	担当 (工線は選択事業)	昨年度 実績値 (令和4年度)	本年度 目標値 (令和5年度)	本年度 実績値 (令和5年度)	評価委員 評価A~E で表示	評価委員コメント
②イベント等出展支援(BtoC)	小川・安野	年 4 者	年 10 者	年 3 者	C	昨年より減少しています。アップを狙って継続しましょう。
イベント出展時の1者あたりの売上額(万円)		年 3.3 万円	10 万円	年 7.7 万円	C+	昨年より増加していますが、目標には少し達していません。継続しましょう。
・全国おつまみinグランスタ東京 全国おつまみinグランスタ東京の売上金額(1者あたり)	小川・安野	年 1 者	年 0 者	年 0 者		内訳項目で目標値0のため評価はしない。再計画が必要。
	小川・安野	年 2.5 万円	年 0 万円	年 0 万円		同上
・かながわ商工会まつり かながわ商工会まつりの売上金額(1者あたり)	小川・安野	年 2 者	年 0 者	年 3 者		内訳項目で目標値0のため評価はしない。継続が必要。
	小川・安野	年 4 万円	年 0 万円	年 7.7 万円		同上
・全国特産品フェアin NAMBAなんなん 全国特産品フェアin NAMBAなんなんの売上金額(1者あたり)	小川・安野	年 1 者	年 0 者	年 0 者		内訳項目で目標値0のため評価はしない。再計画が必要。
	小川・安野	年 0.8 万円	年 0 万円	年 0 万円		同上
③SNS等活用事業者数	樋口・伊藤	年 1 者	年 10 者	年 0 者	E	新しい取組みであるが、昨年は実施している。ぜひ継続して欲しい。
SNS等活用事業者の売上増加率(1者あたり)	樋口・伊藤	年 0 %	10 %	年 0 %	E	取組み数がなければ、成果は出ない。
④ECサイト利用・自社ネットショップの開設事業者数	樋口・伊藤	年 0 者	年 5 者	年 0 者	E	新しい取組みであるが、ぜひ実施して欲しい。
ECサイト利用・自社ネットショップの開設事業者の売上増加率(1者あたり)	樋口・伊藤	年 0 %	10 %	年 0 %	E	取組み数がなければ、成果は出ない。

II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

9. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

報告	内容	担当	昨年度 実績値	本年度 目標値	本年度 実績値	評価	コメント	
①実績報告書作成	・目標対実績管理表(当シート)を用いて実績報告書を作成	全職員 内海	年 1 回	年 1 回	年 1 回	A	仕組みは、ちゃんと動いています。継続して下さい。	
外部評価	②外部有識者による評価及び見直し ・非会員有識者等で構成する「経営発達支援計画検証委員会」の開催	安藤・宮川	年 1 回	年 1 回	年 1 回	予定	A	仕組みは、ちゃんと動いています。継続して下さい。
是正措置	③指導や助言方法、支援計画や支援体制などの見直し ・外部機関による評価と指摘に基づき、上記の見直し(是正措置)		年 1 回	年 1 回	年 1 回	予定	A	仕組みは、ちゃんと動いています。継続して下さい。
講評・承認	④正副会長会議による評価・見直し方法の承認 ・正副会長会議及び理事会において評価・指摘・講評と承認を受ける		年 1 回	年 1 回	年 1 回	予定	A	仕組みは、ちゃんと動いています。継続して下さい。
講評・承認	⑤事業の成果、評価及び見直し結果の公表 ・理事会承認の後に、商工会報及びホームページで公表	樋口・小泉	年 1 回	年 1 回	年 1 回	予定	A	仕組みは、ちゃんと動いています。継続して下さい。

10. 経営指導員等の資質向上等に関すること

【資質向上の目標】	内容	担当	昨年度 実績値	本年度 目標値	本年度 実績値	評価	コメント
①経営指導員を含めた全職員の支援ノウハウの習得	ア. 神奈川県商工会連合会主催研修会への参加(支援職員8名の合計回数)	全職員	年 10 回	年 20 回	年 9 回	D	経営指導員等の資質向上は、全項目の推進上、重要である。継続してレベルをアップして欲しい。
	イ. 中小企業大学校 中小企業支援担当者研修への参加	全職員	年 21 回	年 20 回	年 14 回	C	昨期より減少しているが、ぜひ継続して欲しい。
	ウ. 専門家への同行	全職員	年 12 回	年 20 回	年 4 回	C+	昨期より減少しているが、ぜひ継続して欲しい。
	エ. DXに向けたIT・デジタル化の取組	全職員	年 1 回	年 20 回	年 0 回	D	昨期より大幅に減少している。継続して欲しい。
						E	昨期より減少して0であった。まずは実施して欲しい。
②経営分析結果や支援ノウハウを組織内で共有	ア. 商工会内勉強会の実施(全職員の持回り)	全職員	年 0 回	年 12 回	年 0 回	E	回数が少なくてもまずは実施計画を立てて欲しい。
	イ. 支援ノウハウのデータベース化	宮川	年 0 回	年 1 回	年 0 回	E	過去事例を整理して皆が閲覧可能なファイリングとするだけでもデータベースの一つとなる。まずは着手して欲しい。

評価基準 <定性評価(定量評価)>

A: 目標を達成することができた(100%以上) B: 目標を概ね達成することができた(80~99%) C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)
D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満) A+: (110%~) E: 未実施

<総評は別紙記載>